

感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、1人ひとりの心がけが大切です。あなたやあなたの周りの人々を守るための行動をとりましょう。



マスクを着用しましょう



石けんで手を洗いましょう



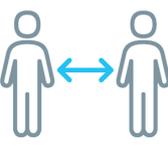
こまめに換気しましょう



3密を避けましょう



咳エチケットを心がけましょう



ほかの人と十分な距離(2m)を取りましょう

問合せ 健康保険課 健康増進グループ
☎029-240-6550

文芸しろさと

俳句

真昼間の波音高くカンナ燃ゆ
綿引 英子
灯台に登り広がる秋の海
中野 千賀子
立秋やブルーベリーの色を濃く
岩澤 とし江
清らかな光纏へり百合の花
園部 洋一
秋草や尾を振るのみの牛五頭
飯田 勇一
目にしみるむらさきの色盆の花
竹内 幸子
万緑に染まりて巫女の袴来る
田口 勝元

川柳

日帰りツアーで天国見学あったらいいな
車田 綾子
誰だっけマスク取っても誰だっけ
川原 清
お願い!もう刃を変えてよ草刈り機
飯村 孝一
流れていくマッチポンプの誘い水
袴塚 貴子



短歌

墓参り娘に頼む侘び住まい遺影をそっと胸に抱きぬ
信田 育子
老鷹のつぶやく如く酔う如く深き木立の青葉の蔭に
富田 佐智子
世代越え言い伝え来し「命どう宝」沖縄だけの言葉にあらざ
萩谷 登喜子
春の苑くれなるにほふ桃の花下照る道に出で立つ乙女
矢次 洋平
七夕に願いを込めて書きました世界平和と家族の平和
富田 鉄子
天井に亡父亡母亡夫の面うかび感謝をしつつ夢路にはいる
山形 式妙

しろさとまち通信

地域おこし

—城里町地域おこし協力隊— Vol.77

城里町地域おこし協力隊の連載、9月号は安達智弘が担当します!



▲トマトの栽培をしている様子

こんにちは、地域おこし協力隊の安達です。
着任してから早くも一年が過ぎました。農業をまったく知らずに飛び込みましたが、研修を通し農業の難しさ、面白さを感じる毎日です。また、人とのつながりの大切さも実感でき、充実した一年となりました。二年目は就農に向けて栽培する作物を決め、栽培技術を学ぶ準備の年にする計画です。
現在は今年の2月から、いちご農家さんのもとで研修しています。いちごは夏の時期でも栽培に必要な作業があり、その中でも特に重要なのが土作りです。連作できない作物なので土壌の消毒が必要となります。薬剤を使う方法もあります。研修先は太陽熱で土の病害虫を防ぐ方法を用いて、自然にも作物にも優しいやり方を行っています。さらに減農薬やこだわりの肥料を使用しており、食べてくださる方のことを第一に考え、安全・安心でおいしい作物を提供するという、農家さんの熱い思いが伝わります。いちご農家さんのように情熱を注がられる作物を見つけたら、農業への想いは深まるばかりです。6月には交流都市である東京都江戸川区で、城里町の農産物を販売する物産市に参加しました。「おいしくてまた買いに来たよ」と言ってくれる方もいて、自分のことのように嬉しく感じました。私も食べてくださる方に喜んでもらえるような作物を作っていきたいと改めて思いました。
二年目は勝負の年です。これまでの経験を少しでも形にし、目標に向けて進んでいきます。

問合せ 農業政策課
☎029-288-3111(内線253)